

(学校運営協議会・報告様式)

令和7年度 第6回 若松小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日時 令和 8年 2月 20日(金) 16:00~17:15

2 場所 会議室

3 あいさつ

(委員長)・冬季オリンピックアスリートが関係者への感謝の気持ちを口にしている。感謝の気持ちを持つことも育てていきたい。

(学校長)・縄跳び大会を開催し、自分たちで決めた目標をめざしてがんばった。今後、6年生を送る会やウォークラリーがある。子どもたちが企画したことをできる限り実施していきたい。

4 協議内容(○委員の発言 ●回答等)

(1) 学校関係者評価について(校長)

・全体を通して

「数字の良し悪しを評価することには慎重になる必要がある」という意見をもらった。意識していきたい。

① 学力向上×ICT 活用」

- ・Chrome を悪用する事案が市内である。使い方を改めて確認したい。
- ・自主学習を校内にひろめ、家庭学習の定着をめざしたい。

② 長期欠席対策

- ・子ども同士、教職員と子ども、よい関係づくりをめざしたい。
- ・学生ボランティアが積極的に参加。子どもと距離も近く、いい関係性である。

③ 非認知能力

- ・児童会の企画運営をもりあげたい。
- ・場に応じた言葉遣いを指導していきたい。

④ 地域連携

・学校が主体となるべきことを再度確認し、地域の方々に相談しながら地域学習をすすめていきたい。地域の方にしてもらえるのが当たり前になってはいけない。

○見守り等、名前だけになっていないか。

→●毎年役員が変わるので、引継ぎができていない面もある。

○光太夫は30年続いている。文化は守り続けていきたい。今の時代に合ったやり方を検討していく必要がある

○学校だよりが今日現在で40号も発行されている。作成が大変だと思うが、いつも読んでいる。

○美化ボランティアの数が少なくなっていることが課題。

## (2) 1年間のまとめ(委員全員)

- ラジオ体操引き続き継続したい。
- 委員になって、地域の方々が子どもをあたたく見守ってくださっているのがよくわかった。  
今の家庭は共働きが多い。今後も地域にご協力いただくことがあると思う。
- 特別教室へのヘルメットの設置が実現できてよかった。
- 登下校で児童がばらついて歩いている様子が気になる。しかし、子どもと対話ができるようになった。子どもは笑顔であいさつしてくれる。
- 学校とともに地域を盛りあげていきたい。
- 紙面上ではわからない子どもや先生の一生懸命な様子がわかった。
- 大木中学校区の問題が気になる。
- 地域コーディネーターとして、来年度は今年度より活躍したい。

## (3) 次年度に向けて(校長)

- ・学校運営協議会員メンバーについて

## (4) 意見交換

- グリーンベルトが薄くなっている
- センターを通して、市に挙げてもらうとよい

## 5 教育支援課より

- ・学校長の「子どもたちが落ち着いて勉強できる環境にしたい」という思いを感じた。地域の方々の温かさにもつながり、子どもたちにもつながっている。
- ・学校評価について、どんどん意見や要望を伝えていけるとよい。これは学校をよりよくしていくためのものである。
- ・地域学習について、地域任せにならず、子どもたちが「地域のことをもっと知りたい」というところから進めていけるとよい。また、地域学習の発表の場があってもよい。